

## 塾長の独り言 NO144 H22 .10 .15

### 「日本の緊急経済対策」

こんな英語のジョークがある。

暗い夜道を歩いていたら、誰かが街灯の下で探し物をしている。

「何か落としたんですか？」

「財布を落としましてね」

「じゃあ、私も一緒にさがしてあげましょう」

二人で懸命に探したが、一向に見つからない。

「ここで落としたのは確かなんですか？」

「いや、どこで落としたかわからないんですよ」

「では、なぜここで探しているんですか？」

「ここに街灯があって探しやすいからです……。」

日本の緊急経済対策は、これと同じなのだ。

つまり、道路や橋など(それも必要な都市部ではなく、僻地の過疎地に)を、造りやすいところから造っているだけで、人々のニーズや経済効果など全く考えていない。

つまりは目的と手段を混同している。

2009年の民主党の政権交代で少しは変わるかと思ったが、無駄遣いが酷くなった。

子供手当、高校無償化などの教育政策も全くの不毛な政策。

何のために子供手当を出すのか？

目的から考えれば当然、教育費だけに使用可能なバウチャー商品券にすればいいだけです。

額面1000円の小切手が必要枚数、各家庭に配布出来るようにすればコストも安く出来ます。

本来の目的も考えずに、簡単に既存の制度を使い、やり易い方法で……となっている。

すると手段が目的化して、本来の意図と全く異なった使われ方をすることになる。

### <コメント>

昨日のP社の全社員ミーティングに参加させていただき、感じたことは…

経営計画は何の為にやっているのか？

誰の為にやっているのか？

銀行？取引先？株主？

社長自身の為？

それとも社員の為？

そもそも、原点に立ち返り、ゼロベースで考えるきっかけになりました。

今一度、我社の経営計画発表会は何の為にやっているのか？

そして、誰のためにやっているのか？

目的と手段を間違っていないか？考えてみましょう！

PFドラッカーはマネジメントの目的は3つと言っています。

- 1.組織の使命を果たす為
- 2.組織のメンバーに仕事を通して成長することによって自己実現し幸せになる為
- 3.組織を活用して、社会に貢献する為